

前回（第18回）審議会における委員からの主な意見と対応方向について

項目	意見	対応方向
1 指針の全体構成に関すること	改訂案の第1章第1項について、章題を「指針改訂の趣旨等」と改めた場合においても、指針策定の目的についての記載を失わないでいただきたい。	改訂後の指針第1章第1項においては、改訂の経緯等だけでなく、指針策定の目的について記載する予定です。
	指針の改訂に当たっては、文化芸術の振興又は活用を通じて地域づくりを行っていくといった考え方が重要である。	条例の目的でもある「豊かな文化芸術とともに生きる地域社会の形成」に努めていきたいと考えております。
2 「4つの施策方向」について	文中に出てくるキーワードの使い方について、県民に知らしめるという視点で整理し、分かりやすく使用していくことが大事なのではないか。	表現・記載内容等については県民の方々がわかりやすいものとなるよう努めていきたいと考えております。
3 主な施策方向(1)～「日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信」～関係	指針においては、「ステークホルダー」である一般県民の視点を気にかけるべきである。また、その中で県の施設の役割についても記載する必要があるのではないか。 県の文化施設は盛岡周辺に集中している現状があり、実際に利用できる施設近隣の県民だけでなく、遠方の県民を考慮し、施設側から積極的にアウトリーチをしていくといった考え方が重要である。	指針における県の施設の位置付けについては、引き続き検討していきたいと考えております。 また、県立美術館では、県内各地域で「あーとキャラバン事業」を実施しています。 【参考】 岩手県文化振興事業団が運営する4事業所が、県内で合同の展示会やコンサート等を実施しています。
	博物館の重要な役割として、新たな文化財を発掘し、価値を生み出し、発信し、地域を活性化していくことが重要である。	県立博物館では、新たな文化財の情報発信と企画展示・常設展示に努めております。
	岩手県が競争力を持つためのターゲット設定や資源の投入方針について、指針のどこかに記載があってもよいのではないか。	改訂指針においては、情報発信の対象を県外、海外等に拡充していくこととしており、より詳細なターゲット設定や資源活用については、個別事業の中で検討していきたいと考えております。
4 主な施策方向(2)～「文化芸術と県民との交流支援体制の整備」～関係	「県民が優れた文化芸術に直接触れ、新たに取り組む機会の創出」という表現があるが、何を対象としているのか。文化芸術において、作品等に触れたから・鑑賞したからといって、すぐにそれを作製できる・取り組める、といったものばかりではない。	文化芸術の種類により時間差はありますが、優れた文化芸術に直接触れることは、活動を開始する動機付けのひとつであると考えます。指針文中の表記については、なるべく誤解を招くことのないよう努めていきたいと考えております。
	「アーティスト・イン・レジデンス」の考え方を改訂指針に強く打ち出しても良いのではないか。	施策として明記することは困難ですが、「アーティスト・イン・レジデンス」の考え方を踏まえつつ、文化芸術を通じた地域間交流を進めていきたいと考えております。

項目	意見	対応方向
	<p>次世代を育成していくためには、優れた指導者、コーディネーター、ファシリテーター等を養成する必要がある。</p> <p>今一番重要なのは、ファンドレイジング（民間非営利団体の活動のための財源獲得）ができるアートマネージャーを養成できるかであり、指針においてもそのような議論ができるとうい。</p>	<p>改訂指針において追加する「岩手県文化芸術コーディネーターの活用」や「文化芸術業務の運営・企画能力を有する人材の育成」を今後進める中で、優れた人材の育成に努めていきたいと考えております。</p>
<p>5 主な施策方向（3）～「豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援」～関係</p>	<p>文化振興基金について、企業メセナ等を活用しより強い基金制度を作る、アーツカウンシル（芸術評議会）配置し助成先を審査・評価する、といった取組を検討しても良いのではないかと。</p>	<p>文化振興基金については、現在市町村等からのアンケートを集計中です。その内容により、今後の個別助成制度の運用の中で検討していきたいと考えております。</p>
<p>6 県民が一体となった文化芸術の振興について</p>	<p>県の指針の中で、各市町村において（各市町村独自の）指針を策定することを盛り込むべきではないかと。</p>	<p>文化芸術基本法の規定において、文化芸術指針は各地方自治体が策定することになっており、今後、市町村との会議等の中で指針策定に関する情報交換等を行っていきたいと考えております。</p>